



7月の園だより

令和7年7月

富田林市立錦郡幼稚園

生きる力を育む体験とは

～ 入園・進級後3ヶ月を経て ～

こどもたちが入園・進級して3ヶ月が過ぎました。ひとりひとり、また集団としても随分と成長したことを実感しています。そして、日々のさまざまな活動を通じて、数多くの体験を積み重ねてきたことが、ひとすじの道となってきました。

学校現場では、この3ヶ月間のこどもたちの様子を『緊張続く4月、習慣付く5月、落ち着く6月』と表することがあり、幼稚園でも同じだと感じています。特に3歳児(ほし組)の多くは、生まれて初めて、長い時間を家庭以外の、しかも知らない人ばかりの場所(＝幼稚園)で過ごすわけですから、緊張感も並大抵ではないでしょう。ましてや、それぞれ家庭での過ごし方が異なっているため、まわりの子の行動や言動に、戸惑うこともあったでしょう。それでも毎日顔を合わせていると、自然と声を掛け合ったり、一緒に遊ぶようになってきたりと習慣がついてきました。「今日は〇〇ちゃん休みかな?」「〇〇くんはどうか?」とまだ登園していない園児を気遣うようにもなってきました。「みんなと一緒に遊ぶと楽しい!」仲間意識がどんどん膨らんでいます。と同時に、物事に落ち着いて対応できるようにもなってきました。

6月17日(火)には錦寿荘にて、『錦寿いきいきクラブ』(錦織地区シニアクラブ)のみなさんと本園園児たちとの交流会を開催していただきました。一緒に手遊びをして気持ちをほぐしたあと、人形劇サークル『クリオネ』さんによるマリオネット劇をみんなで観させていただきました。「面白いところは、大いに笑っていいのよ」と伝えられた通り、大きな声で元気に笑うこどもたちと地域のみなさんの姿にほっこりさせていただきました。これから2学期、3学期にも一度ずつ交流をして、『ナナメの関係』をさらに深めていく予定です。また、錦郡小学校、第二中学校、大阪大谷大学など各学校と、児童・生徒・学生とはもとより、教職員間でも日常的にさまざまな取り組み、交流を行っています。

ここで先月号に載せた本の続きで『生きる力を育む5つの体験』を紹介します。

- (その1)好奇心や探究心を広げる『自然体験』
- (その2)感性を刺激する『本物体験』
- (その3)創造力や思考力が高まる『没頭体験』
- (その4)解決する力がつく『失敗体験』
- (その5)自信につながる『成功体験』

私たちおとなの役割のひとつは、こどもたちがこれら5つの体験をできるだけ多くできるように、さまざまな環境を整えていくことでもあると考えています。こどもたちの生きる力をみんなで一緒に育んでいきましょう。

園長 塩野 義和

裏面【錦郡幼稚園ホームページのご案内】もぜひご覧ください。